

平成26年度エイズ予防財団助成事業実績報告書

実施団体	HaaTえひめ
実施事業名	中四国地方におけるMSMのH I V対策ネットワーク構築とゲイコミュニティでのH I V予防啓発の実際(若年層対策など)
団体代表者	新山 賢
事業の目的	日本のMSM向けH I V対策はこれまで東京・大阪・名古屋など大都市圏を中心に、厚生労働省エイズ対策研究班や国の事業として実施されている。ただその対策を中四国地域など地方に向けてと、大都市圏と比べると貧弱な対策しか行われていない。MSMのH I V対策に大きな地域格差があると言える。H a a TえひめがH 2 5年度に実施した四国4県の保健所設置自治体のエイズ対策担当者との懇談の中で自治体担当者はそれぞれの地域の中で、MSMのH I V対策の方策の糸口を掴みあぐねていることが窺えた。H a a Tえひめのこれまで愛媛県を中心とした活動経験をもとに、中四国地方のMSMのH I V対策を「県域を越えた広域対応」として模索・実施していきたい。そのためにH I V予防啓発の広域対応の実際と、中四国地方の自治体・医療機関・大学など関係諸機関とH a a Tえひめとのネットワークを構築していきたい。またこれまで愛媛県にて実施してきたMSMティーンエイジャーを対象としたH I V予防介入を継続実施したい。
事業の達成度	四国4県と岡山県・広島県のエイズ対策担当課と情報共有・予防対策の検討など懇談をおこなうことができた。これまでのネットワーク構築の試みが四国では「H26年度 四国4県連携事業～個別施策層のエイズ予防対策～」として、四国4県(徳島県・香川県・愛媛県・高知県)とNPOであるHaaTえひめとで協力して、研修会・意見交換会、HIV検査促進、予防啓発としてコンドームの製作配布など予防対策を実施できた。また既存プログラムのMSMティーンエイジャーのコミュニティイベント「+TALK10」などの実施。中四国地方のHIV検査情報ガイドを発行し検査促進を行政などと協力し実施できた。
事業実績	対象となった人数
	具体的な活動内容
	<ul style="list-style-type: none"> ・愛媛県内のMSMティーンエイジャー (述べ22人) <ul style="list-style-type: none"> ●中四国地方のH I V対策担当者とのネットワーク構築 中四国地方の関係諸機関 (懇談先：広島県・広島市・広島大学病院エイズ医療対策室、岡山県・岡山市・倉敷市・川崎医科大学、香川県・高松市・香川大学病院、徳島県、愛媛県・松山市・愛媛大学医学部、高知県・高知市) とH I V対策ネットワークを構築し、MSMのH I V対策を“県域を越えた広域対応として”試行することができた。特に四国では『H26年度 四国4県連携事業～個別施策層のエイズ予防対策～』として、四国4県(徳島県・香川県・愛媛県・高知県)と協力しこれまでにない予防対策を行政の垣根を越えて実施することができた。 ●中四国地方のH I V検査情報ガイドの製作・配布 中四国地方のH I V検査場(中四国9県全72検査場)の情報をガイドブック一冊にまとめ製作・配布をおこなった。配布先は全72検査場と中四国地方のゲイ商業施設とゲイクラブイベントで配布し、検査促進をはかった。 ●10代MSMのための安心できる「場」と「予防情報」の提供を目的としたイベント開催(計8回) MSMティーンエイジャーの為のコミュニティイベント「+TALK10」の開催を通して、自らのセクシュアリティ(性的指向)について悩み、孤立している思春期のMSMティーンエイジャー(13～19歳)を対象に、彼らが安心して集える「場」を提供し、セクシュアリティと性についての正しい情報を伝え、メンタルヘルスとセクシュアルヘルスについての確かなサポートをおこなうことができた。HIV予防情報を届けることが非常に困難な層と言われるMSMティーンエイジャーへのプログラムをゲイ当事者団体や地域ゲイ情報サイトが協働でおこなうことで、心理的なハードルを低くすることができ、参加者を比較的容易に募ることができ、メンタルヘルスとセクシュアルヘルスへの介入がスムーズにおこなうことができた。この「+TALK10」はH26年度(計8回)の実施で延べ22人の参加を得ることができた。